

## 「第3次豊田市文化芸術振興計画（素案）」における パブリックコメントの実施結果について

### 1 概要

#### (1) 実施期間

令和7年12月9日（火）～令和8年1月9日（金）

※Eモニターは12月1日（月）～12月10日（水）

#### (2) 寄せられた意見の内訳

提出数 41通（うちEモニター39通、その他2通）

意見数 48件 ※1人の意見に複数項目含まれる場合は分けて整理

分類	件数
施策1「多様な鑑賞・体験の機会の拡充」に関すること	23件
施策2「活発な創作活動の推進」に関すること	3件
施策3「文化芸術への関わりしるの創出」に関すること	4件
施策4「文化芸術の活動を支える基盤整備」に関すること	6件
計画全般に関すること	2件
感想等	10件

## 2 寄せられた意見とそれに対する市の考え方

※意見の概要は、内容の主旨を損なわない範囲で要約しています。また、計画と関係ない意見や感想等については、市の考え方は示していません。

### (1) 施策1「多様な鑑賞・体験の機会の拡充」に関すること 23件

意見の概要	件数	豊田市の考え方
<p>こどもへの対応は評価できるが、大人や高齢者に対しても気軽に参加できる施策を行ってほしい。文化芸術を気軽に鑑賞・体験できる機会が増えると良い。</p>	9	<p>本計画では、誰もが文化芸術に親しむことをめざす姿としており、様々な取組を推進していきます。博物館常設展の市内在住者無料や市内70歳以上の方の美術館、博物館、民芸館の観覧料無料、コンサートホールでの500円コンサートなど公共文化施設での取組みのほか、地域等へのアウトリーチ活動を充実させ様々な場所で多様な文化芸術に触れる機会を増やしていきます。</p>
<p>学校行事で文化芸術に触れる機会を増やしてほしい。</p>	4	<p>学校との連携は、こどもたちが文化芸術に触れる機会を広げるうえで重要と考えています。市内の小学校6年生、中学校2年生全校のこどもを対象とする博物館・美術館を拠点とした「博物館・美術館学習事業（博学連携プログラム）」やコンサートホールでの「心に残る記念事業」などを通じて、学校を介した多様な機会を提供しています。今後は、新たに小学校3、4年生向けの舞台芸術鑑賞招待を実施するとともに、学校へのアウトリーチ活動など、触れる機会のさらなる充実を図っていきます。</p>
<p>文化芸術に興味を持つきっかけを作ることが大切。</p>	3	<p>文化芸術に興味を持ったきっかけは、アンケート調査等から身近な人の影響が大きいと言えます。こどもの周りの大人たちの関心を高める取組やSNSでの情報発信、多様な場所での鑑賞・体験機会等をより創出していきます。</p>

<p>友人や家族など誰かと一緒に文化芸術を楽しむ機会があるとよい。</p>	<p>2</p>	<p>こどもワークショップを通じて、「好きなことを友人等と共有したい」という気持ちがあることが分かりました。このことを踏まえ、計画の基本理念を、文化芸術を「とも(共・友)に」楽しむまちとしています。今後は、さまざまな取組を通じて、誰かと「ともに」楽しめる機会を創出できるよう、進めていきます。</p>
<p>日常的に、まちなかや地域の身近な場所で文化芸術に触れられると良い。</p>	<p>2</p>	<p>文化活動者へのヒアリング調査からも、文化芸術が暮らしの中で身近に見えることで、興味・関心に繋がることが分かりました。気軽に参加できる公演・講座のほか、地域等へのアウトリーチ活動等を通して、日常の中で文化芸術の魅力を感じられる機会を提供します。</p>
<p>美術館や博物館の企画に市民の希望が反映される仕組みがほしい。</p>	<p>1</p>	<p>展覧会は、学芸員による調査研究により企画しています。展覧会の開催にあたっては、アンケート等を通じて市民の皆さまからいただいた御意見を共有し、その後の運営の参考としています。</p>
<p>シンボリックな取組として、美術等の「国際芸術祭」を開催したらどうか。(「施策3」の「(仮)とよた芸術祭」は、市民主体のものでありこれとは別物のイメージ。)</p>	<p>1</p>	<p>施策3の「(仮)とよた芸術祭」はアーティストと地域住民が魅力ある文化イベントを一緒に作り上げ、市民の関心・理解を高めるとともに、市内外から多くの方が来場することを目指しています。第3次計画におけるシンボリックな取組として、今後計画していきます。</p>
<p>有名建築家による市内施設・構造物の紹介を主な取組内容に加えたらどうか。</p>	<p>1</p>	<p>本市には美術館や博物館、スタジアムなど著名な建築家による施設や構造物が数多く存在しています。近年、建築ツーリズムや建築祭への関心が高まっています。現時点では主な取組内容には掲載しませんが、事業として検討していきます。</p>

**(2) 施策2「活発な創作活動の推進」に関すること 3件**

意見の概要	件数	市の考え方
アマチュアで活動する文化芸術家の発表できる場が増えると良い。	3	アマチュアで活動する文化芸術家の活動・発表機会の充実は、本市の文化芸術振興にとって重要です。引き続き、市民美術展や市民クラシックコンサート、市民演能会など、市民参加型の取組を実施していきます。また、展示可能な場所について、市内の展示専用施設やギャラリーに加え、展示可能なスペースを有する公共施設を周知していきます。

**(3) 施策3「活動する人々の連携とまちの活性化への展開」に関すること 4件**

意見の概要	件数	豊田市の考え方
文化芸術でリーダーシップのとれる人材がほしい。	1	主体的に文化イベント等の企画・推進にかかわる市民を増やすため、「とよた市民アートプロジェクト」や「とよたデカスプロジェクト」を実施してきました。今後は、この活動から生まれた団体や個人と協力しながら、関わりしるを広げる取組を引き続き推進していきます。
市内の伝統行事の存立について、注力してほしい。	1	「(仮)とよた芸術祭」では、魅力ある地域資源をアートの視点で捉え直し、その魅力を広く発信していきたいと考えています。また、保存団体等の活動の維持や用具の修理等に対して引き続き補助金を交付することで、市内に伝承される伝統的な郷土芸能の継承を支援していきます。
施策3に「出身芸術家との交流促進」を加えたらどうか。	1	コンサートホール・能楽堂では、WE LOVE とよたスペシャルサポーターの演奏会や稽古を行っています。文化芸術への関わりしるを広げていくため、まずは既存の取組の中で、豊田市出身はじめアーティストと市民が関わる機会の創出を図っていきます。

<p>映画等のロケ地としてさらに積極的な誘致をしてほしい。施策3に「フィルムコミッションの強化」を加えてはどうか。</p>	<p>1</p>	<p>本市では、豊田市観光実践計画 2025-2029 に基づき、官民連携により組織された「とよたフィルムコミッション推進協議会（観光誘客推進課事務局）」において、映画等のロケ地誘致を推進していきます。</p>
---	----------	---

**(4) 施策4「文化芸術の活動を支える基盤整備」に関すること 6件**

意見の概要	件数	市の考え方
<p>市民の興味・関心を掘り起こし、取組を効果的に推進するためには、広報活動を強化する必要がある。</p>	<p>3</p>	<p>興味がある人だけでなく、関心層を増やすために、各文化施設において公演・展覧会・イベント等のメディア掲載をより積極的に働きかけるなど、発信を行っていきます。また、公演後の参加者の声やアンケート結果等を周知し、文化芸術活動への理解の促進につなげていきます。</p>
<p>アンケートなどのデータ収集の頻度等を高め、実態把握を緻密に行ってほしい。</p>	<p>1</p>	<p>主な取組等について、引き続きアンケート調査等により実態把握を行います。また、収集したデータを広く市民に伝える取組を検討していきます。</p>
<p>イベント等に安心して参加できるよう、施設の職員体制について充実を図ってほしい。</p>	<p>1</p>	<p>市民のみなさまが安心して施設を利用し、イベントに参加していただけるよう、外部組織などとの交流や研修により、施設職員の専門性を高めていきます。</p>
<p>美術館、博物館エリアの周辺環境を整備し、アクセスやすくしてほしい。</p>	<p>1</p>	<p>美術館や博物館、市民文化会館周辺については、現在進めている豊田市駅周辺整備の進捗を踏まえつつ、徒歩や自動車による利便性の向上につながるよう検討していきます。</p>

(5) 計画全般に関すること 2件

意見の概要	件数	市の考え方
<p>現状・課題を踏まえ①新たな取組、②強化する取組、③優先する取組がどれかが分かりにくい。「シンボリックな取組」を加え、見せ方も工夫することで、市民の関心が高まるのではないか。</p>	1	<p>御意見を踏まえ、主な取組内容に第3次計画から「新規」「拡充」するものが分かるよう、表記を追加します。重点取組（シンボリックな取組）として1つに定めず、4つの基本施策に紐づくさまざまな取組を網羅的に実施することで、計画の推進を図っていきます。また、計画周知の際は、市民の関心を高められるよう、見たくなる計画図書や動画によるPRを実施していきます。</p>
<p>女性、若者が豊田市に住みたいと思う判断ポイントの一つが文化芸術の充実のため、全体を通して現在よりも内容の充実を図ってほしい。</p>	1	<p>基本理念「つなげるからつながるへ 文化芸術をともに楽しむまちとよた」を実現するため、今後の取組を検討する際や、計画見直しの際に、より充実した内容になるよう進めていきます。</p>